

政策番号 政策名

231 個性と魅力あるまちづくり

政策の方向

まちづくりの方向を「保全・再生・創造」の3つの大きな概念で捉え、各種の都市計画制度を活用しながら、市民が快適に安心して生活でき、かつ、多彩で个性的な機能をもつ魅力あるまちをつくる。

そのため、広く市民と情報を共有し、京都独自のきめ細かなまちづくりのしくみを整えながら、それぞれの地域において、市民との協働により、地域に根ざしたまちづくりを進める。永い歴史のなかで受け継いできた自然・歴史的資源に恵まれた地域においては、その個性を保全・再生し、新たな都市の活力を担う市南部においては、積極的に都市機能を充実し、都市全体の魅力と活力を高める。

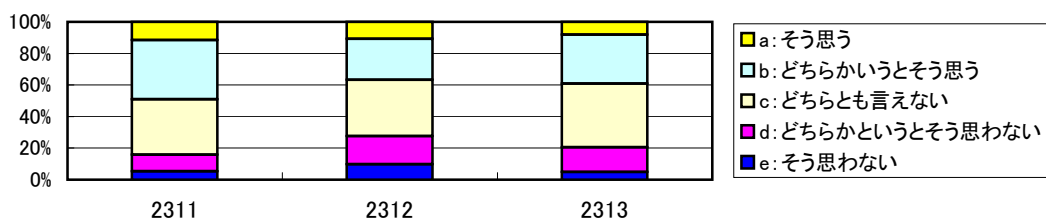
政策の評価

1 政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価

施策番号	客観指標名	18		19		20	
		数値	評価	数値	評価	数値	評価
2311	高度集積地区整備推進協議会会員団体数（団体）	52	a	53	a	53	a
2312	地下鉄駅別乗降客数（二条駅）（千人）	6,375	a	6,723	a	6,934	a
2313	地区計画の地区数（地区）	43	c	45	c	50	a
2313	地域協働型地区計画の策定数（計画）	0.8	c	1.0	c	1.5	c
客観指標総合評価			b		b		a

2 政策を構成する施策に対する市民生活実感評価

施策番号	設問	評 価		
		18	19	20
2311	美しい自然や町並みが保たれている一方、南部地域には企業が集積するなど、多様なまちづくりが進んでいる。	b	b	b
2312	鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。	c	c	c
2313	景観や住環境を守るための住民によるまちづくり活動が盛んになってきている。	c	c	c
市民生活実感総合評価		c	c	c



3 総合評価（市民生活実感総合評価＋客観指標総合評価）

B	客観指標については、全4項目のうち地区計画に関する項目でc評価からa評価に上がり、全体として大変良い状況である。 市民生活実感については、多様なまちづくりの進展に関してb評価であるが、まちのにぎわい・住民のまちづくり活動に関する2項目でc評価であり、全体としては昨年度と同様、どちらもとも言えない状況である。 客観指標評価及び市民生活実感評価を総合的に勘案し、この政策の目的はかなり達成されていると評価する。	18年度	C
		19年度	C

4 政策の重要度（27政策における市民の重要度）

18年度		19年度		20年度	
順位	%	順位	%	順位	%
23	7.1%	21	8.1%	22	7.6%

5 原因分析・今後の方向性

本政策は、短期間では成果が表れにくいことから市民生活実感には大きな変化が見られないが、客観指標において、地区計画の地区数が増えcからa評価となったことから、総合評価は昨年度のC評価からB評価となった。

新景観政策に基づき、地域の景観特性に応じた建築物の高さ規制やデザイン基準の見直しを実施しているほか、「新・京都市南部創造まちづくり推進プラン」に基づく基盤整備の充実や民間開発の適切な誘導、企業立地等の促進等の取組、また「多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり」として、太秦天神川駅周辺整備等の取組を推進している。更には「まちづくりを支えるしくみづくり」として、地域協働型地区計画の策定と併せ、地域の自主的なルールづくり（まちづくり憲章等）などの取組を進め、「個性と魅力あるまちづくり」は着実に推進されてきている。

今後は、厳しい財政状況にあっても計画的に施策を推進していくために、一層の事業の磨き上げ（融合、選択と集中）を図るとともに、市民や事業者との協働の促進、国への制度的・財政的支援の要望などを行っていく必要がある。このほか、「高度集積地区まちづくり推進プログラム（仮称）」の策定や、阪神高速8号京都線の整備など環境変化を踏まえた南部の創造のまちづくりの新たな展開を検討するとともに、（財）京都市景観・まちづくりセンターの、地域まちづくりの拠点である区役所との連携による幅広い取組などを図る必要がある。

（参考）この政策を実現するための施策とその総合評価

施策番号	施策名		評価結果		
	施策概要		18	19	20
2311	保全・再生・創造を基調とするまちづくり		B	A	B
	永い歴史のなかで受け継いできた自然・歴史的資源に恵まれた地域においては、その個性を保全・再生し、新たな都市の活力を担う市南部においては、積極的に都市機能を充実し、都市全体の魅力と活力を高めるまちづくりを進める。				
2312	多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり		B	B	B
	鉄道駅周辺の交通の利便性が高い地域においては、周辺住環境との調和に配慮した都市機能の配置と市街地環境の整備を行い、民間活力を活用しながら、にぎわいと潤いのあるまちづくりを進める。 また、地域特性に応じた商店街の活性化を図り、商業振興と一体となったまちづくりを進める。				
2313	まちづくりを支えるしくみづくり		C	C	B
	広く市民と情報を共有し、京都独自のきめ細かなまちづくりの仕組みを整えながら、それぞれの地域において、市民との協働により、地域に根差したまちづくりを進める。				